

## 「ぷらさ da わかば」第2日目 12:30-13:30

担当: 大平幸(文責)・高村めぐみ・平山允子・毛利貴美

「ぷらさ da わかば」第14回目を実施いたしました。日本語教育の世界で「わかば」な人に、先を歩く「センパイ」との対話、交流の機会を提供するこの企画、春季大会の第2日目に、オンラインで実施しました。運営に関し、大きなトラブルもなく、スムーズにイベントを行うことができました。

今回は、センパイ登録をしてくださっている会員の中から8名の方にセンパイとしてご協力いただき、応募された8名のわかばさんとの対話セッションを実施しました。セッションでは、研究や教育、キャリアについての対話が和やかな雰囲気の中で交わされました。40分のセッションを通して、活発なやりとりが続き、センパイとわかばさんの双方が互いの話に耳を傾ける様子が見られました。

事後アンケートでは、参加者のみなさまから、「とてもよかった」「よかった」という意見をいただきました。特に、わかばさんからは、「身近にロールモデルがおらず悩んでいたが、キャリアについて考えるきっかけとなった」や、「日本語教師に限らず、日本語教育にかかわる道がたくさんあるということを知り、様々な可能性を探りたいと思った」というキャリアについてのコメントや、「研究について具体的な話が聞けた。目先の論文のことだけでなく、その先までワクワクできるような研究テーマを考えたい」といった研究に関するコメントをいただきました。印象的だったのは、共通して「モチベーションが上がった」「意欲が湧いた」という感想が見られたことです。一方運営に関して、「対話相手についての事前情報の提供」や、「個人情報の開示に対する配慮」、「企画実施後のつながりづくり」といった観点からのご意見もいただき、これらのご意見については今後も検討が必要となりそうです。

これまで、年2回、春季・秋季大会にあわせて実施してきた「ぷらさ da わかば」ですが、2024年からは年1回、春秋大会から独立したイベント(オンライン開催)として実施していく予定です。委員一同、より多くの方に参加がしやすく、充実した対話が行える場にしていきたいと考えています。引き続き、本企画へのご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

